

# 社会福祉法人 三栄会 面会のガイドライン

## 趣旨

新型コロナウイルス感染症に高齢者が感染すると重症化リスクが高まるため、特に介護施設を利用する高齢者は基礎疾患を持つ高齢者が多数入所しているため、一旦施設内で感染が始まると相次いで感染してしまうことが想定されます。（クラスター感染）

高齢者施設の感染対策の一つとして、ウィルスを持ち込まないことが最も有効な感染防止策であり、その一環として利用者と外部面会者との面会を制限することが必要になってきます。

その一方で、長期間にわたる面会制限は、利用者や面会者（家族）に心理的な負担を与えるものであり、利用者のADLやQOLに悪影響を及ぼすことも考えられます。

このような状況をふまえ、施設としてウィルスを持ち込まないという原則を保ちつつ、利用者と面会者（家族）との面会に関するガイドラインとして、下記の通り制定します。

## 1 利用者の条件

新型コロナウイルス感染症の感染またはその疑いのないこと。また感冒やその他感染症等の罹患がないこと。

## 2 面会者の条件

- ① 過去2週間内に感染者、感染の疑いがある者、濃厚接触者との接触がないこと。
- ② 新型コロナウイルス感染症に感染していないこと  
(過去に感染し回復した場合には、職員等へご相談いただくこと)
- ③ 過去2週間内に発熱がないこと。
- ④ 検温により平温より高くなっていないなど健康状態に問題がないこと。  
(別添「面会者問診者・チェックシート」の全てに該当しないこと)
- ⑤ 人数を最小限とすること。

## 3 面会の方法および基準

コロナウイルス感染症が終息するまで、原則面会は制限しますが、地域の感染状況をみながら、下記の方法での面会を実施します。

### ① オンラインでの面会

面会者が施設に来院し、施設が用意したパソコン・タブレット端末等を用いて利用者との面会を行う方法

### ② 対面での面会

面会者が施設に来院し、面会者と利用者が直接面会する方法

実施方法については、神奈川県が発動する「神奈川警戒アラート」を参

考にして、地域医療機関等の感染状況をふまえて判断する。状況によっては、突発的に「対面」→「オンライン」、「オンライン」→「対面」、「オンライン・対面」→「面会禁止」を行うことがある。

#### 神奈川警戒アラートに基づく面会の基準

神奈川警戒アラートの状況		面会の方針（原則）
特定警戒都道府県指定の解除	感染観察（緑）	対面
神奈川警戒アラート発動	感染拡大注意（黄色）	オンライン
特定警戒都道府県再指定	特定警戒（赤）	禁止

※上記はあくまで原則であり、状況により変更することがある。特にインフルエンザ等の流行期は、感染観察（緑）期間でも面会を制限することがあります。

#### 4 面会の手順

- ① 面会日時は、施設があらかじめ定めたスケジュールから選択いただく事前予約制とします。1回あたりの面会時間は約15分間といたします。  
ご予約方法は原則面会希望日の前日（土日祝日を除く）までに、電話でのご予約をお願いします。
- ② マスク着用を必須とします（マスク着用がない場合は、入館及び面会をお断りします。）
- ③ ご入館時に、検温、手指消毒、別紙「面会者問診票・チェックシート」のご記入をお願いいたします。
- ④ 当面の間、1回あたりのご面会者の人数を2名を上限といたします。また小学生未満のお子様のご面会は感染ご遠慮願います。
- ⑤ 面会場所は施設が指定した場所で行います。  
(状況に応じて、飛沫防止対策を講じたアクリル板やビニールカーテン越しでのご面会となります。)
- ⑥ 差し入れ品の持ち込みは禁止です。差し入れ品をその場で飲食することも禁止です。
- ⑦ 面会中は、職員が立ち会いことがあります。
- ⑧ 注意事項  
(対面面会)
  - ・手を握ることは事前及び事後に手指消毒を着実にすれば差し支えありませんが、抱擁や顔を触ったりすることご遠慮願います。
  - ・面会者が自身の涙や鼻水を触らないよう注意願います。
  - ・面会者が利用者の涙や鼻水を拭う等しないよう注意願います

(オンライン面会)

・端末および通信回線の状態には万全を期しますが、状況によっては、映像や音声が悪れたり、途絶えたりすることがあります。

## 5 その他

- ① 上記1～4に遵守していただけない場合は、面会をお断りする場合があります。
- ② 本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて変更することがあります。

以上